



発行 日本共産党 寝屋川市議員団 072-824-1181 FAX: 824-7760 No.3520

寝屋川市議員

中林かずえ 宝町 4-33 090-3944-8385 寝屋川市議員

松尾信次 下木田町 12-6 090-3056-9924 寝屋川市議員

西田まさみ 石津中町 30-3 090-9713-3588 前寝屋川市議員

太田とおる 高柳 2-49-2 080-3818-9722

教職員を増やして教職員の働き方改革を 中学校での35人学級求める



一般質問する西田まさみ議員
2024年12月17日

中学校のクラブ活動については 議論が必要 西田議員が一般質問

教職員の働き方が問題になっていきます。教員は授業のほか、授業準備や、給食指導、担任業務、校務分掌や会議、打合せなどあり、これを7時間45分の所定勤務時間労働で行う

一人ひとりの子どもに向きあう

時間の確保が必要

教職員の長時間労働解消には、真の働き方改革をしていかななくてはなりません。そのためには、教職員の基礎定数増が必要です。定数増は長時間過密労働と教員未配置の解消に欠かせません。教職員の願いは、子ども一人ひとりに向き合える時間が確保されることではないでしょうか。そ

のは大変厳しく、「授業の準備に時間がとれない」「休憩がとれない」「持ち帰り残業が当たり前」のようになっているのが現状です。

本市では、部活動指導員派遣事業が行われており、進学先中学校に希望する部活動がない場合、中学校でそのスポーツを続けられない現状があります。中学校における部活動の選択肢を増やすため、種目別拠点校を設置し、部活動指導員を派遣することににより、在籍校に希望する部活動がない生徒に活動の場を提供することと、教職員の働き方改革を進めることから、この事業が始められました。

生徒たちがクラブ活動を通して、自主性をはぐくんできていくこと、スポーツや文化に親しんでいくことなど積極的な意義も大切にし、生徒の所属するクラブの活動時間などについては、教師、指導者、生徒、保護者も含め議論を通じて決めていくことが望ましいと考えます。

のためには、教職員を増員し、中学校でも35人学級を実現することであると考えます。本市でも中学校の35人学級を早急に実施することを求めます。

中学校の教師のクラブ活動にかかる負担が少し軽減されているのですが、中学生を持つ保護者からは、「中学校の先生の働き方を考え、長時間勤務にならないようにクラブ活動の平日の活動日をこれまでより少なくする、土日のいずれかは休養日とする」と、活動時間を短縮することについて一定理解はするが、子どもは、着替え、準備体操などで時間が過ぎてしまい、活動時間が十分に取れないと言っている、子どもの気持ちを考えてもう少し活動時間がとれないか」という相談があります。

市としての教師の働き方と中学校のクラブ活動の在り方につきましては、拠点校に拡充や段階的な地域移行をすすめ、生徒の希望する様々な活動や競技への参加を実現し、生涯にわたって運動できる基礎を培うとともに、教員の時間外労働の削減や働きがいの向上に努め、教員が健康的で子どもとしっかり向き合う時間を確保していくよう取り組んでいきます。

負担を感じる要因としては、クラブ活動の指導で授業準備や教材研究ができないことや、土日の対応があること、競技経験や専門知識が不足していることなどがあげられています。

また、教員の働き方でクラブ活動が負担になっているのではないかと考えます。クラブ活動は、子どもたちの健全な成長に必要な活動と考えます。しかし、長い間、クラブ活動は、専門のスタッフを置かず、教員の負担、犠牲の上に成り立ってきたのではないかと考えます。

◆答弁 教員の働き方と中学校のクラブ活動の在り方につきましては、拠点校に拡充や段階的な地域移行をすすめ、生徒の希望する様々な活動や競技への参加を実現し、生涯にわたって運動できる基礎を培うとともに、教員の時間外労働の削減や働きがいの向上に努め、教員が健康的で子どもとしっかり向き合う時間を確保していきよう取り組んでいきます。



古川雨水幹線バイパス管工事 現場見学会

地下17mの立坑



1月17日、古川雨水幹線バイパス管工事現場を視察しました。

この工事は、古川水路に流入している雨水排水を、道路の地下に新しく入れる下水道管に取り込み直接、一級河川寝屋川へ排水することで、古川水路の流量負担を軽減し浸水被害を防具ものです。



築造されたトンネル

この日は第二中学校敷地内(池田西町)から中神田町4番先まで約1.9kmの掘削工事が終わり、トンネルが築造されたことから見学会が行われたものです。地下17mの立坑からトンネル内に入り、トンネル内部を見学することが出来ました。工事完了は、今年7月の予定です。

ベンチは必要な施設 西田議員の質問に市が答弁

西田議員は、12月議会でベンチの設置について質問しました。西田議員がかかわっている、香里園地域のベンチプロジェクトは、9月から11月にかけて、知り合いや近所の方に協力してもらい、アンケート調査に取り組みました。

住んでいる地域で「この場所にベンチがあつたらいいな」と思うところをお聞かせくださいとアンケートをお願いしたところ42枚のアンケートを回収することができました。

その中で、「ベンチを設置してほしい場所は？」の問いに「バスの停留所」「スーパーの前」「どこにでも置いてほしい」「自宅から香里園の駅まで、2回くらい休憩しながら歩くので、歩道にベンチを置いてほしい」など様々な声が出されました。



また、イラストを添えて、答えてくださる方もおり、ベンチの設置を求める切実な声がたくさんあることがわかりました。

質問で西田議員は、箕面市が、2024年から3年間で市内に140基のベンチを設置するとの計画を発表し、すでにベンチの設置が進められていることから、箕面市で調査してきたことをもとに質問を行いました。

箕面市では、以前から高齢者団体、障がい者団体などから市内にベンチの設置を求める声が出されており、共産党議員団も一般質問で取り上げ要望してき

たことなどから今回のベンチ設置が実現したとのことでした。

高齢者や障がいを持つ人が安心して外出できるようとベンチの設置がすすめられているとのことでした。

西田議員は以下のことを質問しました。

●高齢の方、障害をお持ちの方、妊婦さんや小さい子どもをつれた方が安心して外出し、休憩できる場所を確保できるように市内の歩道

やバス停などスペースのある場所にベンチを設置することを求め市の見解を聞きます。

◆答弁

歩道やバス停などスペースのある所にベンチを設置することについては高齢者や障害をお持ちの方など、外出中に休憩をとっていたために必要な施設であると認識しており、現在、ベンチの在り方について検討をすすめています。

法律相談

日時：2月12日(水)
午後6時半
※ 日程が変更になりました

場所：日本共産党
寝屋川市委員会

相談を希望される方は市議会議員までお電話ください。

議員日誌



西田
まさみ

1月13日の成人の日。市民会館で開催された成人式で、寝屋川憲法を守る会主催で行われた「成人式平和宣伝」に党議員団も参加しました。

本市で今年二十歳を迎えられたのは2100人とのことで、振袖、スーツに身を包んだ新成人が、同級生との再会を懐かしむ姿があちこちで見られました。

党議員団は、30分ほど宣伝したあと会場に入り、式に参加しました。

成人式は、実行委員会によって運営され、司会も新成人2人がおこないました。

市長、議長のおいさつの後、寝屋川市PR大



使の作家の門井慶喜さんと又吉直樹さんからのビデオメッセージが披露されました。

最後に新成人の力強い誓いの言葉がありました。

社会のために頑張りたいとの言葉に、新成人の方たちが、お金の心配なく学べるように、労働時間を短縮し、自由な時間を増やすため私がんばります。